

日建連の
社会貢献活動



平成 28 年 4 月
一般社団法人日本建設業連合会

総目次

I. 日建連 社会貢献活動協議会としての活動	1
(1) 文化的建造物の保存協力ボランティア活動	
(2) 寄付活動	
II. 社会貢献活動協議会会員会社の社会貢献活動事例	24
III. 社会貢献活動協議会以外の会員会社の社会貢献活動事例	136

社会貢献活動協議会会員会社の社会貢献活動事例

【あ行】		株式会社竹中工務店	……	82
あ アイサワ工業株式会社	……	24	株式会社竹中土木	……
青木あすなろ建設株式会社	……	26	て 鉄建建設株式会社	……
あおみ建設株式会社	……	28	と 東亜建設工業株式会社	……
株式会社浅沼組	……	30	東急建設株式会社	……
安藤ハザマ(株式会社安藤・間)	……	32	東洋建設株式会社	……
い 伊藤組土建株式会社	……	34	戸田建設株式会社	……
岩田地崎建設株式会社	……	36	飛島建設株式会社	……
え 株式会社エム・テック	……	38	【な行】	
お 株式会社大林組	……	40	な 株式会社ナカノフードー建設	……
株式会社大本組	……	42	に 西松建設株式会社	……
株式会社奥村組	……	44	株式会社 NIPPO	……
オリエンタル白石株式会社	……	46	日本国土開発株式会社	……
【か行】			日本道路株式会社	……
か 鹿島建設株式会社	……	48	【は行】	
鹿島道路株式会社	……	50	は 株式会社長谷エコーポレーション	……
株木建設株式会社	……	52	ひ 株式会社ピーエス三菱	……
き 北野建設株式会社	……	54	ふ 株式会社福田組	……
く 株式会社熊谷組	……	56	株式会社フジタ	……
こ 株式会社鴻池組	……	58	株式会社不動テトラ	……
五洋建設株式会社	……	60	ほ 株式会社本間組	……
【さ行】			【ま行】	
さ 佐藤工業株式会社	……	62	ま 前田建設工業株式会社	……
三幸建設工業株式会社	……	64	前田道路株式会社	……
し 清水建設株式会社	……	66	松井建設株式会社	……
ショーボンド建設株式会社	……	68	株式会社松村組	……
せ 西武建設株式会社	……	70	み 三井住友建設株式会社	……
株式会社銭高組	……	72	【や行】	
【た行】			よ 寄神建設株式会社	……
た 大成建設株式会社	……	74	【わ行】	
大成ロテック株式会社	……	76	わ 若築建設株式会社	……
大日本土木株式会社	……	78		
大豊建設株式会社	……	80		
				以上 55社

社会貢献活動協議会以外の会員会社の社会貢献活動事例

【あ行】		ふ 株式会社藤木工務店	……	159	
あ 株式会社浅川組	……	136	ほ 株式会社北都組	……	160
株式会社新井組	……	137	【ま行】		
荒井建設株式会社	……	138	ま 松尾建設株式会社	……	161
い 勇建設株式会社	……	139	丸彦渡辺建設株式会社	……	162
株式会社石山組	……	140	株式会社丸山工務所	……	163
う 株式会社植木組	……	141	み 宮坂建設工業株式会社	……	164
お 大木建設株式会社	……	142	みらい建設工業株式会社	……	165
大林道路株式会社	……	143	も 株式会社森本組	……	166
奥村組土木興業株式会社	……	144	【や行】		
【か行】			や 矢作建設工業株式会社	……	167
か 株式会社ガイアート T・K	……	145	株式会社ヤマウラ	……	168
株式会社加賀田組	……	146	【ら行】		
く 株式会社クボタ工建	……	147	ら ライト工業株式会社	……	169
こ 広成建設株式会社	……	148			
【さ行】					以上 34 社
さ 三軌建設株式会社	……	149			
し ジェイアール東海建設株式会社	……	150			
新谷建設株式会社	……	151			
せ 仙建工業株式会社	……	152			
【た行】					
た 大鉄工業株式会社	……	153			
株式会社田中組	……	154			
【な行】					
な 南海辰村建設株式会社	……	155			
に 日特建設株式会社	……	156			
の 株式会社ノバック	……	157			
【は行】					
は 株式会社橋本店	……	158			

I. 日建連 社会貢献活動協議会としての活動

社会貢献活動協議会は、建設業界としての各種の社会貢献活動に関して、寄付要請の受付、要請議案の協議、協力の実施を目的としています。

原則として日建連の正会員である、本会の趣旨に賛同する会社をもって構成しています。

平成28年3月現在 会員55社

アイサワ工業(株)	青木あすなろ建設(株)	あおみ建設(株)
(株)浅沼組	(株)安藤・間	伊藤組土建(株)
岩田地崎建設(株)	(株)エム・テック	(株)大林組
(株)大本組	(株)奥村組	オリエンタル白石(株)
鹿島建設(株)	鹿島道路(株)	株木建設(株)
北野建設(株)	(株)熊谷組	(株)鴻池組
五洋建設(株)	佐藤工業(株)	三幸建設工業(株)
清水建設(株)	ショーボンド建設(株)	西武建設(株)
(株)銭高組	大成建設(株)	大成ロテック(株)
大日本土木(株)	大豊建設(株)	(株)竹中工務店
(株)竹中土木	鉄建建設(株)	東亜建設工業(株)
東急建設(株)	東洋建設(株)	戸田建設(株)
飛鳥建設(株)	(株)ナカノフドー建設	西松建設(株)
(株)NIPPO	日本国土開発(株)	日本道路(株)
(株)長谷工コーポレーション	(株)ピーエス三菱	(株)福田組
(株)フジタ	(株)不動テトラ	(株)本間組
前田建設工業(株)	前田道路(株)	松井建設(株)
(株)松村組	三井住友建設(株)	寄神建設(株)
若築建設(株)		

(1) 文化的建造物の保存協力ボランティア活動

1. 「旧モーガン邸」庭園清掃ボランティア活動

下草刈り、竹の切断、畑の土起し、剪定した枝木の結束 等

＜旧モーガン邸とは＞（神奈川県藤沢市大鋸 1122）

旧モーガン邸は、昭和6年に建てられた建築家 J. H. モーガンの旧邸です。

モーガン亡き後、何人かの手に渡りましたが、平成17年に藤沢市と財団法人日本ナショナルトラストが取得、復原改修後に一般公開されることになっていました。ところが、主屋部分が平成19年、20年と二度の火災に遭い、かなりの損傷を受けてしまいました。

現在は、毎月8日の一般公開をはじめ、第3日曜日に清掃活動、季節ごとのイベントなど、修復再生に向けた活動を行っています。

■平成28年2月27日(土) 10:30～12:30

参加人数 45名（14社・42名、事務局3名）



(2) 寄付活動

No.	要請先	件名
1	一般社団法人日本車椅子バスケットボール連盟	日本車椅子バスケットボール選手権大会費募金
2	公益社団法人東京青年会議所	わんぱく相撲全国大会費募金
3	第1回がん撲滅サミット事務局	第1回がん撲滅サミット開催費募金
4	地球環境国際議員連盟(GLOBE Japan)	「GLOBEアジア・パシフィック議員フォーラム」開催費募金
5	公益財団法人日本シルバーボランティアズ	事業費募金
6	一般財団法人産業遺産国民会議	事業費募金
7	一般財団法人スポーツ振興資金財団	事業費募金
8	一般財団法人経済広報センター	通常会費
9	防衛懇話会	事業費募金
10	日本赤十字社	事業費募金
11	公益財団法人海外日系人協会	事業費募金
12	社会福祉法人いのちの電話	事業費募金
13	日本聾話学校後援会	支援金募金
14	公益財団法人日本交響楽振興財団	事業費募金
15	特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム	ネパール中部地震被災者支援活動募金
16	公益財団法人世界平和研究所	事業費募金
17	公益財団法人がんの子どもを守る会	事業費募金
18	公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団	東日本大震災被災文化財の復旧支援事業募金
19	公益財団法人警察協会	救済援護等事業資金募金
20	公益財団法人日本農林漁業振興会	農林水産祭費用募金
21	上智大学	アンコール・ワット西参道修復工事募金
22	一般財団法人スポーツ振興資金財団	ラグビーワールドカップ2019 日本大会開催事業費募金
23	職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会	富士教育訓練センター賛助会費
24	一般社団法人建設広報協会	国土交通行政推進事業協賛金
25	公益財団法人全国教諭師連盟	事業費募金
	合計 (25件)	

No. 1 一般社団法人日本車椅子バスケットボール連盟

日本車椅子バスケットボール選手権大会費募金（昭和57年度～毎年）

障害者がスポーツを通じて体力の維持増強、機能回復等の向上を図り、明朗快活な性格と協調精神を養うことによって自立更生の充実と明るい生活形成に寄与することと共に、社会の正しい認識を高めることを目的として開催。

第43回大会は全国77チームから予選を勝ち抜いた16チームによるトーナメント戦。

【第43回日本車椅子バスケットボール選手権大会】

1. 会 期 平成27年5月4日～6日（3日間）
（優勝：宮城MAX／7大会連続優勝）
2. 会 場 東京体育館
3. 出場者 16チーム 240名

写真提供／日本車椅子バスケットボール連盟

第43回大会



No. 2 公益社団法人東京青年会議所

わんぱく相撲全国大会費募金（昭和62年度～毎年）

子供たちが、「スポーツとしての相撲」を通じ、心身の鍛練と健康の増進を図ることなどを目的に開催。全国各地の青年会議所の協力のもとに、地区大会を開催したのちに全国大会を行う。

【第31回わんぱく相撲全国大会】

1. 地区大会 平成27年4月～6月
223大会 約3万3千人参加
2. ブロック大会 平成27年6月
14地域で開催 約3千人参加
3. 全国大会 平成27年8月2日 於：両国国技館
出場選手 393名（131チーム）

写真提供／東京青年会議所

第31回大会



No.3 第1回がん撲滅サミット事務局

第1回がん撲滅サミット開催費募金

がんは、わが国において1981年より死因の第1位となり、国民の二人に一人が罹る国民病とも言われている。近年は医学研究や医療技術の進歩、新薬開発等により必ずしも死に至る病ではなくなりつつあり、完治を目指して治療を続けながら通常生活を営む方々も少なくない。

このような中、画期的な治療法として注目されているガンマナイフ治療の第一人者、林基弘医師が中心となり、がん及びがんへの偏見の撲滅を目指して、第1回サミットを開催。

【第1回がん撲滅サミット】

1. 会 期 平成27年6月9日(水)
2. 会 場 パシフィコ横浜
3. 参 加 1,000名

写真提供／がん撲滅サミット事務局



ご臨席の高円宮妃殿下



公開セカンドオピニオン
「日本の匠」六人衆

No. 4 地球環境国際議員連盟 (GLOBE Japan)

「GLOBEアジア・パシフィック議員フォーラム」開催費募金

GLOBEは、1989年に日・米・欧の国会議員有志が、地球環境問題に対する国際協力を推進するために設立した組織で、世界70ヶ国の国会議員、40か国以上の国別組織が参加。2014年2月に開催されたGLOBE International年次総会で小池百合子議員がGLOBE International副会長（アジア・パシフィック地域担当）に就任。これにより日本が、昨年7月に開催の「GLOBEアジア・パシフィック議員フォーラム」のホスト国となり、地球温暖化問題、大気汚染問題、廃棄物問題について立法者間の協力体制強化を目的に会合を開いた。

【GLOBEアジア・パシフィック議員フォーラム】

1. 会 期 平成27年9月30日～10月1日
2. 会 場 東京プリンスホテル
3. 対 象 アジア・パシフィック各国国会議員、政府関係者、経済団体・企業等
4. 参 加 約100名

写真提供／地球環境国際議員連盟



GLOBEアジア・パシフィック議員
フォーラム出席者



横浜見学（横浜市金沢焼却工場）

No.5 公益財団法人日本シルバーボランティアズ

事業費募金（昭和55年度～毎年）

定年到達者の知識、経験を活用し、開発途上地域に対して奉仕隊による技術協力を行い、相互理解と友好親善に寄与することを目的としている。

【主な事業】

1. ボランティアの登録事業
2. ボランティア派遣（本年度計画100名）
3. シニア海外ボランティア派遣事業の受託
4. 内外事情の調査研究および広報
5. 海外技術協力に係る内外諸機関との協力

写真提供／日本シルバーボランティアズ



スリランカ/ケラニヤ大学人文学部
現代語学科にて日本語指導



中国/りんごの幼木剪定指導

No.9 防衛懇話会

事業費募金（昭和43年度～毎年）

防衛懇話会は、1965年9月30日経済5団体（経済団体連合会、経済同友会、日本経営者団体連盟、日本・東京商工会議所、日本工業倶楽部）を発起人として設立された団体であり、国防思想の普及を図ると共に、国民と自衛隊の相互理解を深め自衛隊の健全な発展に寄与し、もってわが国の平和と繁栄に貢献することを目的としている。

【主な事業】

1. 防衛問題に関する講演会、懇談会、座談会の開催
2. 見学会の実施
3. 海外軍事視察（隔年）
4. 防衛省広報活動等への協力
5. 退職者の就職援護協力
6. 殉職隊員追悼式への協力
7. 自衛隊体育振興への協力
8. 災害派遣隊員・国際貢献等派遣隊員の激励
9. 国民の自衛官顕彰事業への協力

写真提供／防衛懇話会



創立50周年記念行事

No.10 日本赤十字社

事業費募金（平成19年度～毎年）

日本赤十字社は創立以来、世界186カ国の国際赤十字の一員として今日まで130年にわたって、赤十字の理想とする人道的任務を達成するため、地震・風水害等の災害救護、救急医療事業、血液事業、海外での災害・紛争犠牲者に対する国際救援活動など、さまざまな事業の推進に努めてきました。

今後発生が予想される東海、東南海、首都直下地震などの広域災害に対し、準備を整え、迅速かつ的確な救護活動が展開できるよう緊急対応仮設診療所などの災害救護設備の拡充を図ります。

【主な事業】

1. 国内災害救護
2. 国際活動
3. 赤十字病院（医療事業）
4. 看護師などの教育
5. 血液事業
6. 救急法などの講習
7. 社会福祉

写真提供／日本赤十字社



救急法



ボランティア

No. 1 1 公益財団法人海外日系人協会

事業費募金（昭和52年度～）

本協会は、海外の日系人団体と各種の交流事業を総合的に行い、諸外国の対日理解を深め、各国間の親善及び相互の繁栄に寄与することを目的としている。

【主な事業】

1. 第56回海外日系人大会（東京、10月開催）
2. 広報事業（協会だより、WEBサイト）
3. ブラジル・ビジネスセミナー事業
4. 海外日経新聞放送協会支援事業
5. 在日日系人対応事業
6. 継承日本語教育センター運営事業 等

写真提供／海外日系人協会



第56回海外日系人大会
「在日日系人子ども発表会」



日系社会リーダー育成業務
「留学生セミナー」におけるブラジル
人学校の視察

No.12 社会福祉法人いのちの電話

事業費募金（昭和55年度～毎年）

困難や危機にあつて、誰ひとり相談できる人もなく、自殺などのさまざまな精神的危機に追い込まれる人たちが、再び生きる喜びを見出すことを願いつつ、よき隣人として活動。

1953年に英国のロンドンで始まった自殺予防のための電話相談に端を発し、1971年に「東京いのちの電話」が設立され、日本で初めての電話相談事業が開始。

現在、約320名のボランティア相談員が、365日無休の電話相談、インターネット相談を行っている。また、ボランティア医師による電話医療相談も受けている。

この活動を担う相談員を毎年一回公募。相談員は1年半の養成研修を経て認定された後も月1回の継続研修を受けながら相談活動を続けている。

写真提供／いのちの電話



研修会



電話相談

No. 1 3 日本聾話学校後援会

支援金募金（昭和50年度～毎年）

本校は、故・米国駐日大使ライシャワー博士の両親によって創設された我が国唯一の「聴覚主導の人間教育」を行う私立聾学校である。聴覚障害児に乳幼児からの早期教育と保護者への支援を行っている。この教育を支援するための後援会組織。

【日本聾話学校】

所在地 町田市野津田町

生徒数 104人（2015年2月1日現在）

- ・乳幼児部 37人
- ・幼稚部 25人
- ・小学部 28人
- ・中学部 14人

写真提供／日本聾話学校後援会



朝の補聴器・人工内耳チェック



幼稚部 リズム遊び

No. 1 4 公益財団法人日本交響楽振興財団

事業費募金（昭和48年度～毎年）

交響楽の振興と普及を図るため、わが国を代表する交響楽団の演奏会や各地のアマチュアオーケストラの演奏活動を助成している。

■「巡回公演」について

交響楽の魅力を広く知ってもらうため、わが国を代表する交響楽団が各地に出向いて、「巡回公演」を実施している。青少年や高齢者も気楽に聴けるように、入場料は通常のコンサートに比べかなり低く設定している。本年度は11の交響楽団が12カ所で実施した。

■「楽器演奏クリニック」と「学校公演」について

巡回公演に合わせて、「楽器演奏クリニック」ないし「学校公演」を実施している。楽器演奏クリニックは、小中高校の吹奏楽部等で演奏している児童生徒に対して、オーケストラの奏者が直接実技指導するもので、こうした機会は少ないことから、高い評価を得ている。2015年度は6カ所で開催した。

学校公演は、巡回公演の前後に近隣の学校を訪問して行うもので、本年度は東京交響楽団の木管5重奏団が、宮城県美里町の不動堂中学校体育館でミニコンサートを行った。

■「アマチュアオーケストラの活動支援」について

地域の文化創造活動にとって欠かせない存在であるアマチュアオーケストラの活動も支援している。2015年度は愛知県の半田市民管弦楽団、名古屋市のプランタン管弦楽団、大阪府のオーケストラ・アンサンブル・フォルツァ、宮城県の石巻市民交響楽団、岐阜県交響楽団の5楽団が行った演奏会を助成した。

写真提供／日本交響楽振興財団



巡回公演（長野第九公演）



楽器演奏クリニック（岡谷公演）

No.15 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム

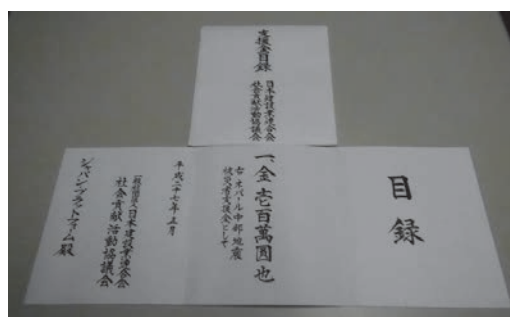
ネパール中部地震被災者支援活動募金(平成27年5月)

ネパールの首都カトマンズ北西で4月25日午前11時56分(日本時間同午後3時11分)、マグニチュード7.8の地震が発生。この地震により、5月6日の時点で、死者7,903人。負傷者17,803人。800万人が被災、280万人が避難、と甚大な被害をもたらす。緊急支援に向けた現地調査事業や、被災者への生活物資配布のために出動している、日本のNGOの活動を支援するための募金を実施。

【特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム】

日本の緊急人道支援の新しい仕組みとして2000年に誕生した中間支援団体。NGO・経済界・政府が対等なパートナーシップのもとに連携し、迅速かつ効率的に国内外緊急支援を実施するため、単独では包括的な支援を行う財政基盤等が十分でない日本の加盟NGOを様々な形でサポートする。設立以来、総額310億円、980以上の事業、40以上の国・地域における実績を持つ。

写真提供/ジャパン・プラットフォーム



目録贈呈式



仮設校舎で学ぶ生徒たち



支援物資の配布

No. 1 6 公益財団法人世界平和研究所

事業費募金（平成3年～毎年）

本財団は、安全保障問題を中心に、政治、経済、その他の分野における国際問題について調査研究を行い、総合的な施策を国の内外に向けて提言し、これ等の研究に関する国際交流を促進するとともに、人材の育成をはかり、世界の平和と繁栄の維持、強化に寄与する。

【主な事業】

1. 調査研究事業

- ① 「不安定化する国際政治環境における、我が国の安全保障」研究
- ② 研究会等の開催
- ③ 図書、研究誌等の刊行

2. 国際交流事業（国際会議の開催）

- ① 「東京－ソウル・フォーラム」
- ② 「日中フォーラム」
- ③ 「日台対話」

3. 中曽根康弘賞表彰事業

写真提供／世界平和研究所



東アジアの海洋安全保障に関するハイレベル会議

No.17 公益財団法人がんの子どもを守る会

事業費募金（昭和52年度～毎年）

本協会は、昭和43年10月に小児がんで子どもを亡くした親たちによって、小児がんが治る病気になってほしい、また小児がんの子どもを持つ親を支援しようという趣旨のもと設立され、子どもの難病である小児がんに関する知識の普及、相談、調査・研究、支援、宿泊施設の運営、その他の事業を行い、社会福祉及び国民保健の向上に寄与することを目的としている。

【主な事業】

1. 小児がんに対する知識の普及・啓発
 - (1) 公開シンポジウム・絵画展
 - (2) ゴールドリボン推進活動
2. 小児がんに関する相談事業
3. 小児がんに関する調査・研究事業
4. 小児がん等難病に関する宿泊施設運営事業
5. 小児がんに関する支援事業 等

写真提供／がんの子どもを守る会



きょうだい児支援のための
富士山キャンプ



街頭での募金の様子

No. 1 8 公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団

東日本大震災被災文化財の復旧支援事業募金（平成24年度～毎年）

東日本大震災により被災した文化財の復旧支援のため、平成24年度から5年間に渡り、毎年1億円（合計5億円）規模の文化財修復助成事業を行う。

助成は、年度ごとに被災した各都道府県の教育委員会から被災文化財修復計画の申請をもらい、財団内の事業委員会で審査の上、決定し実施している。

【助成対象】

東日本大震災により被災した文化財の修理、復旧等にかかわる事業

- (1) 国の登録文化財
- (2) 都道府県、市町村の条例に基づく文化財
- (3) 指定等されていないが、(1) (2) に準ずる価値のある文化財

【平成27年度 文化財復旧支援事業】

助成件数 19件（美術工芸品1件、建造物15件、無形文化財2件、記念物他1件）

助成額 3,060万円

※申請件数：24件（美術工芸品1件、建造物20件、無形文化財2件、記念物他1件）

写真提供／文化財保護・芸術研究助成財団



宮城県石巻市雄勝の天雄寺観音堂 被災直後と修復完了後



岩手県一関市の八幡神社社殿修理事業 修理中と修理完了後

本協会は、警察活動により被災した職員や一般人に対する救済援護事業を行うとともに、国民と警察が相協力し、豊かな社会を実現するための諸活動を行う。

【主な事業】

1. 救済救護事業

警察活動に協力援助したため災害を受けた方、及び警察執行務に当たり災害を受けた警察職員、並びにその遺族に対する救済援護事業

2. 広報活動事業 等

写真提供／警察協会



スマートフォンをめぐる
犯罪やトラブルの被害防
止・対応策DVD



情報セキュリティ対策用DVD



薬物乱用防止講習会用DVD

No.20 公益財団法人日本農林漁業振興会

農林水産祭費用募金（昭和52年度～毎年）

本振興会は、農林水産祭の実施等により、全国民の農林水産業に対する認識を深め、農林水産業者の技術及び経営の振興を図り、これによって農林水産業の生産性の向上及び農林水産業者の所得の増大を通して国民経済の発展に寄与することを目的としている。

【主な行事（事業）】

1. 農林水産大臣賞表彰審査、天皇杯等三賞選賞審査、選考（8月～7月）
2. 実りのフェスティバル（11月13日～14日）
於：池袋サンシャインシティ4F展示ホールA）
3. 農林水産祭式典（11月23日、於：明治神宮会館）
4. 優秀農林水産業者に係るシンポジウム（12月16日、2月5日、2月18日）
5. 農林水産祭天皇杯受賞者、皇后両陛下との拝謁・業績説明（1月20日 於：皇居）

写真提供／日本農林漁業振興会



「第54回実りのフェスティバル」の天皇杯コーナー、群馬県等をご視察される秋篠宮同妃両殿下



第54回農林水産祭式典において挨拶される森山農林水産大臣



第54回農林水産祭式典において喜びの天皇杯受賞者

No. 2 3 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会

富士教育訓練センター賛助会費（平成9年度～毎年）

富士教育訓練センターは、建設現場で直接「ものづくり」に携わる建設専門工事会社、設備会社、建設関連業団体（建設専門業団体）等22団体の賛同により、平成9年4月に静岡県富士宮市の旧建設省（現国土交通省）建設大学校朝霧校跡地に開校した、建設技術者・技能者の教育訓練施設。

富士山西麓の豊かな自然に囲まれた環境にあり、約5万平方メートルの広大な敷地と約1万平方メートルの施設からなる全国最大規模の建設関係教育訓練施設。

開校以来、「ものづくりは人づくり」という信念の元、業界、企業のニーズに応えるオーダー型の教育訓練を中心に実施することで、建設現場で活躍する優れた人材の育成に努めてきた。

教育訓練実績は、これまでに約15万人、参加企業は延べ5万7000社に及ぶ。

写真提供／全国建設産業教育訓練協会



アーク溶接実習



仮設足場組立実習



測量実習



鉄筋組立実習

No. 2 5 公益財団法人全国教諭師連盟

事業費募金（平成7年度～毎年）

全国教諭師連盟は、教諭師が矯正施設において被収容者に対し精神的・倫理的・宗教的な教諭活動を円滑に行えるよう支援することを本旨としている。

教諭は自己の信ずる教義に則り、宗教心を伝え被収容者の徳性を涵養するとともに、心情の安定を図り、被収容者には自己を洞察して健全な思想・意識・態度を身につけさせ、同時に順法の精神を培い、更生の契機を与える。もって、矯正の実を上げ、社会の安定に寄与することを目的とする篤志宗教家の全国的組織。

【主な事業】

1. 宗教教諭に関する調査及び研究
2. 教諭活動を充実発展させるための支援及び能力開発
3. 関係官庁、教宗団及びその他の関係機関との連絡調整並びに教諭活動に関する提言
4. その他公益目的を達成するために必要な事業

写真提供／全国教諭師連盟



第50回教諭師中央研修会



研修会記録誌